

# CSRの観点から、太陽光発電システムを導入 地域の人々に企業姿勢をアピール

(株)千葉銀行 さま

ちはら台支店の新設を機に、太陽光発電システムを導入しました。店内に設置した発電量や太陽光発電システムの仕組みを解説する液晶ディスプレイも好評。企業姿勢のアピールに大きく貢献しています。

## ■導入先

(株)千葉銀行 さま

- 千葉/千葉市
- 千葉県を主要な営業基盤とする県内最大手の地方銀行。県内に155店舗(その他県外に17店舗、海外に3支店)を有している。(平成21年9月30日現在)



## ■導入商品

### 太陽電池モジュール

ND-S0L7H(多結晶)×56台=10kWシステム

- 2009年2月、ちはら台支店新設に当たり、太陽光発電システムを導入。



## こんなソリューションを実現しました

### Before

導入前(課題)

1

新店舗を通じて、環境対策に積極的に取り組んでいる企業という姿勢を打ち出したいと考えていました。

2

24時間電気を使うATMコーナーなど、電力のランニングコストの削減も課題のひとつでした。

3

CSR推進という観点で、行員の意識改革をはかりたいと考えていました。

### After

導入後(効果)

1

店内に設置した液晶ディスプレイで、現在の発電量を表示するなど、企業姿勢をお客さまにわかりやすく理解してもらっています。

2

太陽光発電システムの導入で、ランニングコスト削減への第一歩を踏み出すことができました。

3

太陽光発電システム導入により、行員の環境へのモチベーションがアップ。CSRの意識も高まっています。

## ■インタビュー



## 環境への配慮は企業の社会的責任。 太陽光発電システムもそのひとつです。

これからの地方銀行は、地域に対し、環境面での配慮でも社会的責任を果たさなければと考えます。ちはら台支店新設に当たり、太陽光発電システムを導入したのもそんな考えから。当店舗の目的のひとつは、お客さまに心地よく利用していただくこと。広い駐車場、バリアフリーへの対応、多目的トイレなどに加え、太陽光発電システムによる“エコ&クリーン”なイメージもお客さまへ好印象を与えていると思います。

左より  
ちはら台支店 支店長 栖原 延夫 さま  
営業企画部 マネージャー 岩重 敏彦 さま  
営業企画部 マネージャー 宮下 大輔 さま  
総務部 一級建築士 守屋 輝一 さま

## 太陽光発電システムは、 千葉銀行の姿勢を示しています。

ちはら台支店は、数年ぶりの千葉県中心部への出店であり、当行にとっても大きな意味がありました。たとえば、子どもが遊べるキッズコーナーなど、これからの支店のモデルとなるような試みを積極的に行いました。太陽光発電システムの導入もそのひとつ。今後の出店計画においても、太陽光発電システムを前向きに検討していきたいと考えています。



## コストダウンとイメージアップの2WAY効果。

導入して約1年。ほぼ予想通りの発電量で、年間を通じた電気代のランニングコストは確実に削減できています。また、競合他店にはないシステムですので、開店当初は地域的话题を呼び、地元の住宅関連の業者の方が「ビジネスの参考にしたい」と興味を示されることも。コスト面もさることながら、当行のイメージアップに大いに貢献していると思います。

## 導入により、 行員一人ひとりの意識も高まりました。

2009年10月にCSR推進室が発足。環境に配慮した商品の開発や植樹、海岸でのゴミ拾いといった公共性の高い活動を企画するなど、今まで以上に社会的責任を果たし、その意識を行員全体に広めることを目的としています。新しい支店に、環境に優しい太陽光発電システムを導入したことは、この目的を果たす上での重要な施策です。導入をきっかけに、行員一人ひとりの環境へのモチベーションも高まり、CSRの意識も広まっています。



ATMコーナーの向かいで、  
太陽光発電に関する情報を表示